

留萌市議会の概要

(令和8年度)

北海道留萌市議会事務局

目 次

- 市名の由来
- 市 章
- 市の木、市の花
- 市民憲章
- 都市宣言

I 市 勢

1. 留萌市の概要	1
2. 主な産業	3
3. 財政状況	1 5
4. 行政組織	1 8

II 議 会

1. 議会の構成	2 1
2. 委員会	2 3
3. 議会の活動状況	2 4
4. 議員報酬等	2 6
5. 議会関係予算	2 7
6. 議会事務局の構成	2 7

○ 市名の由来

アイヌ語のルルモツペが語源。ルルは（潮）モは（静）ツッは（入る）ペは（所）のこと。「潮の静かに入る所」という意味から名付けられている。

○ 市章



留萌の「ル」を図案化したもので、菱形は一粒の種が固い土を割り萌え出てきて葉を形づくったことを表わし、同時に北海道の北の図案にも通じ、北海道留萌の発展性を表わしている。

○ 市の木、市の花

市の木：アカシア



市の花：ツツジ



市の木アカシア及び市の花ツツジは、昭和 52 年 10 月本市の開基 100 年、市制施行 30 周年を記念して制定されたものである。

○ 市民憲章

わたくしたちは美しい日本海と留萌川にそう山々の緑にかこまれた留萌の市民です。港を中心に栄える産業都市、豊かで健康な文化都市がわたくしたちのねがいです。このねがいを実現するため市民憲章をさだめます。

1. 海の資源や山の緑を大切にしておいしい市にしよう。
1. 人に迷惑をかけず公共の物を大切にしてお清潔な市にしよう。
1. きまりを守り、みんなですすめ合う秩序ある市にしよう。
1. 働くことによるこびをもって、仕事に精を出し豊かな市にしよう。
1. 丈夫なからだとあかるい心を持ち、平和な市にしよう。

○ 都市宣言

- ・安全都市宣言（昭和 37 年 10 月 3 日）
- ・平和都市宣言（昭和 59 年 5 月 3 日）
- ・暴力追放・防犯都市宣言（平成 4 年 12 月 15 日）
- ・健康都市宣言（平成 17 年 10 月 1 日）

1. 留萌市の概要

留萌市は、北海道の北西部に位置し、慶長年間に松前藩によるアイヌの人たちと交易するために開かれたルルモッペ場所が始まりとされ、ニシン漁とともに発展してきました。

日本一の生産量を誇る「かずの子」をはじめとした水産加工業、国の重要港湾「留萌港」と国道 231 号、232 号、233 号の 3 路線の結末点、さらに高規格道路留萌深川自動車道の整備といった交通・物流の拠点、国や北海道の官公庁が集積しています。

市の地形を概観すると、東西に走る留萌川を中心に両翼には平原、丘陵が続き、南側の地形は比較的高度のある山並みがあり、北部は低位な丘陵地です。

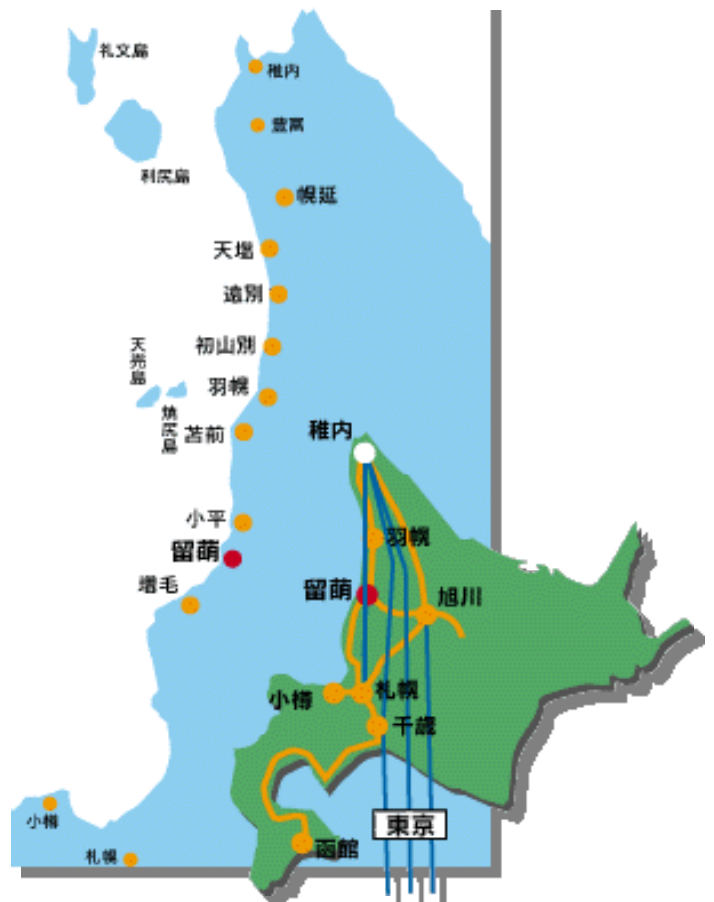
豊かな自然に恵まれた留萌市は、西には日本海、南北には暑寒別天売焼尻国定公園が連なり、暑寒別山系をはじめ夢の浮島といわれる天売・焼尻が望めます。

特に晴れた日には、遠く利尻・礼文の島影が夕陽の輝く日本海に浮かぶ姿が見られ、風光明媚なマチです。

北緯	43 度 45 分 23 秒 —43 度 59 分 37 秒
----	-----------------------------------

東経	141 度 36 分 28 秒 —141 度 54 分 03 秒
----	-------------------------------------

土地面積	297.81 km ²
------	------------------------



(2) 人口の推移（市制施行から）

年次	区分	世帯数	人 口			備 考
			総数	男	女	
昭和	22 年	6,075	30,057	14,930	15,127	臨時国勢調査・市制施行（10.1）
	30 年	7,030	35,797	17,900	17,897	国勢調査（10.1）
	42 年	13,437	42,469	21,041	21,428	住民登録（9.30）
	50 年	11,404	36,882	17,899	18,983	国勢調査（10.1）
	55 年	12,001	36,626	17,743	18,883	〃
	60 年	12,009	35,542	17,249	18,293	〃
平成	2 年	11,716	32,429	15,722	16,707	〃
	7 年	11,624	30,060	14,486	15,574	〃
	12 年	11,767	28,325	13,679	14,646	〃
	17 年	11,666	26,826	12,959	13,867	〃
	22 年	11,044	24,457	11,679	12,778	〃
	27 年	10,402	22,221	10,516	11,705	〃
令和	2 年	9,816	20,114	9,649	10,465	〃

出典：国勢調査及び留萌市統計書

(3) 産業別就業人口

年次	区分	第1次産業		第2次産業		第3次産業		分類不能		合 計
			構成%		構成%		構成%		構成%	
平成	2 年	763	4.87	4,137	26.43	10,743	68.62	12	0.08	15,655
	7 年	628	4.11	4,308	28.18	10,333	67.61	15	0.10	15,284
	12 年	503	3.46	4,153	28.61	9,848	67.85	11	0.08	14,515
	17 年	489	3.61	3,371	24.87	9,637	71.09	58	0.43	13,555
	22 年	395	3.43	2,508	21.75	8,533	73.99	96	0.83	11,532
	27 年	358	3.31	2,200	20.35	8,213	75.95	42	0.39	10,813
令和	2 年	315	3.28	1,896	19.75	7,344	76.49	46	0.48	9,601

出典：国勢調査

2. 主な産業

(1) 農業

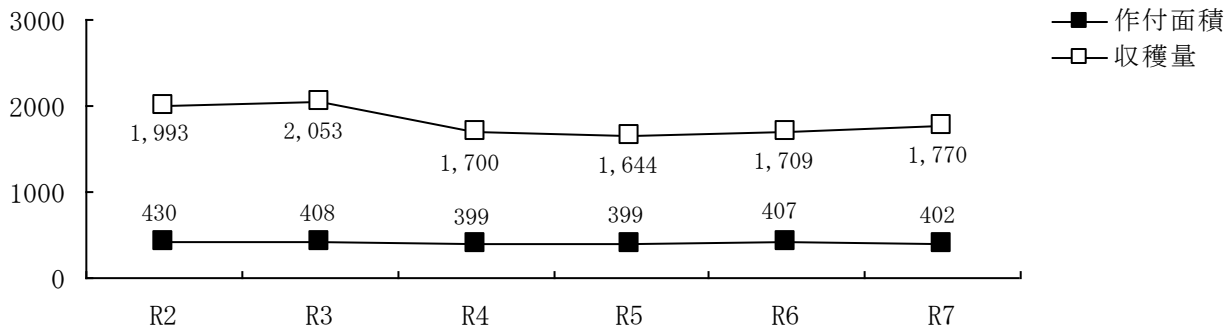
水稻を基幹とした複合経営が展開されており、水稻の作付面積及び収穫量は全道的に見ると少ないものの、主食用米である「ななつぼし」と「ゆめびりか」は、全国食味分析鑑定コンクールや各種コンテストにおいて最高賞を受賞するなど、北海道内屈指の高品質米生産地として高い評価を受けている。

転作作物として、小麦、そば、大豆、南瓜、スイートコーンなど多くの種類の作物を生産しており、「YES！クリーン」を取得しているピーマンは、特に安全・安心な留萌産農産物として関東圏のイトーヨーカ堂を中心に出荷されている。また、北海道が提唱した「麦チェン」運動に積極的にに関わり、関係機関と連携を図る中で、国内品種の中でも希少で、パスタ適性に優れた硬質小麦「ルルロソ」の試験栽培に取り組んでいる。

一方、花きについては、生産者は少ないながらも、ハウス栽培を主とした作付けを行っており、留萌市における夏の冷涼な気候と高度な栽培技術によって育てられたトルコギキョウは関東や関西で高い評価を得ている。

<水稻作付面積及び収穫量>

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
作付面積 (ha)	430	408	399	399	407	402
収穫量 (t)	1,993	2,053	1,700	1,644	1,709	1,770



出典：農林水産課

[留萌市農村交流センター（風土工房こさえーる）]

市街地から国道233号を深川方面に10kmほどの所に位置する、都市住民と農業者の交流拠点施設で、施設内には研修室、加工室、調理実習室、物産展示コーナーがあり、留萌でとれた食材を使ったトマトジュース、そば、豆腐、味噌、パンなどの農産加工体験や大型乾燥機による乾燥加工品などができる。



[幌糠農業・農村支援センター]

廃校舎を活用した農業、農村の課題解決を図る施設で、農業施策の推進に向けた各種事業の実施のほか、地域農業推進に向けた関係機関との連携による担い手対策、支援に取り組んでいる。

センター内には、農産加工品の開発・生産設備が整っており、切り干し大根など地元農産物を活用した加工品生産も行える。

また、グラウンドには耐雪型3重ハウスが2棟建設されており、花きや野菜の育苗に取り組んでいる。



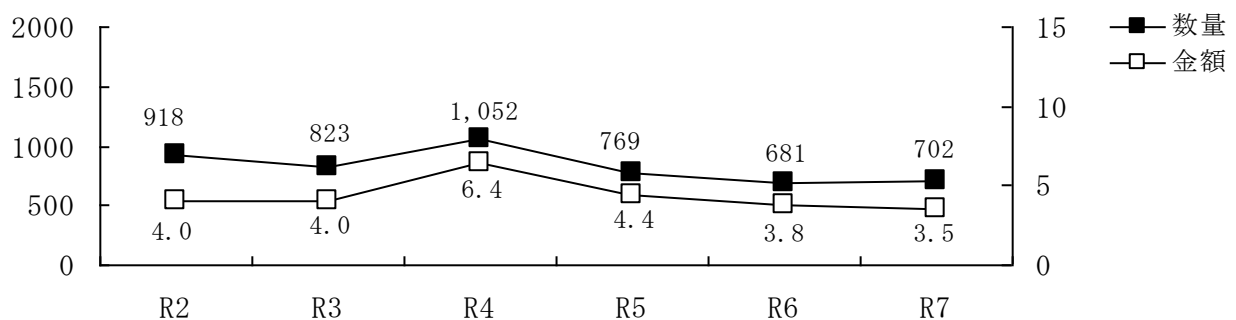
(2) 漁業

留萌市の漁業は、エビを主体とする沖合漁業、サケ、カレイ、タコ、ナマコ、ウニを主体とした沿岸漁業が中心で、令和7年の取扱高は数量で702トン、金額で3億5千万円となっている。

近年、ナマコの魚価単価が高騰していることから、ナマコは当市において貴重な漁業資源となっているため、「東海大学」や「公立ほこだて未来大学」と、それぞれ漁協・市との産学官連携により、資源の増大や資源管理など、効率的な操業体制の確立に向けた共同研究に取り組んでおり、種苗生産技術の確立と資源管理の徹底が図られている。

<年間漁獲高>

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
数量 (t)	918	823	1,052	769	681	702
金額 (億円)	4.0	4.0	6.4	4.4	3.8	3.5



出典：農林水産課

(3) 商業

令和3年の経済センサス—活動調査結果では、商店数は273件、従業員数は1,797人となっており、平成11年との比較では、商店数は189件(59.1%)、従業員数では1,080人(62.5%)、とそれぞれ大きく減少しているが、平成26年調査からはそれぞれ増加傾向にある。

消費者の購買動向については、インターネット・通信販売の普及に伴う販売ルートの多様化や都市部への流出などにより地元店舗での購買が減少する中、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う消費減少の影響が今もなお残っているほか、不安定な国際情勢の影響などによるエネルギー・原材料の高止まりや長期化する円安により、原材料費や仕入れ価格が高騰しており、小規模事業者の経営環境は厳しさを増している。

さらには、経営者の高齢化や後継者不足からの廃業による中心市街地の空洞化が進んでいることから、空き店舗の利活用や中心市街地の活性化に向けた地域の主体的な取り組みが課題となっている。

<商店数、従業員数>

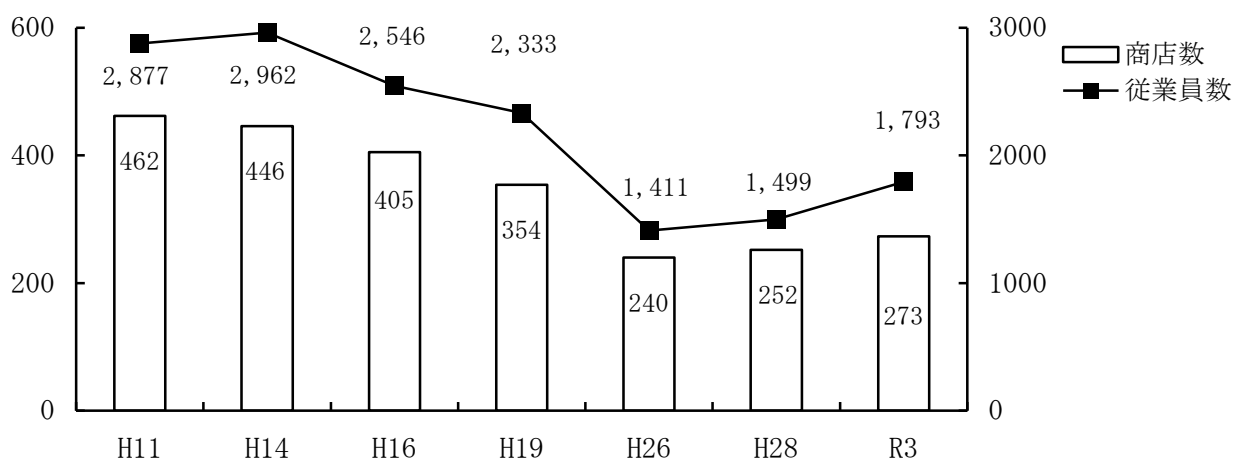
		H11年	H14年	H16年	H19年	H26年	H28年	R3年
卸売・小売業	商店数(件)	462	446	405	354	240	252	273
	従業員数(人)	2,877	2,962	2,546	2,333	1,411	1,499	1,797

※飲食店(一般食堂、ラーメン店など)を除く

※従業員4人以上の事業所

※新調査への移行により、平成26年で商業統計は終了

※平成28年からは経済センサス—活動調査を参照



出典：留萌市統計書、経済センサス—活動調査

(4) 工業・水産加工業

本市の製造業は、水産加工業を中心とした食料品製造を柱として発展し、中でもかずの子製造については、令和7年の生産高で年間1,290トン、約60億円と加工品生産高全体の約70%を占め、特に塩かずの子の生産量は、全国シェアの半分近くを占めるなど、市の主力水産加工品となっている。

しかし、近年は、かずの子の消費の減少と共に、市内の生産量も下降傾向が続いていることから、平成28年9月に、市議会議員提案による「留萌市かずの子条例」を制定するなど、留萌市全体で「かずの子のマチ るもい」として、かずの子の消費拡大をPRしている。

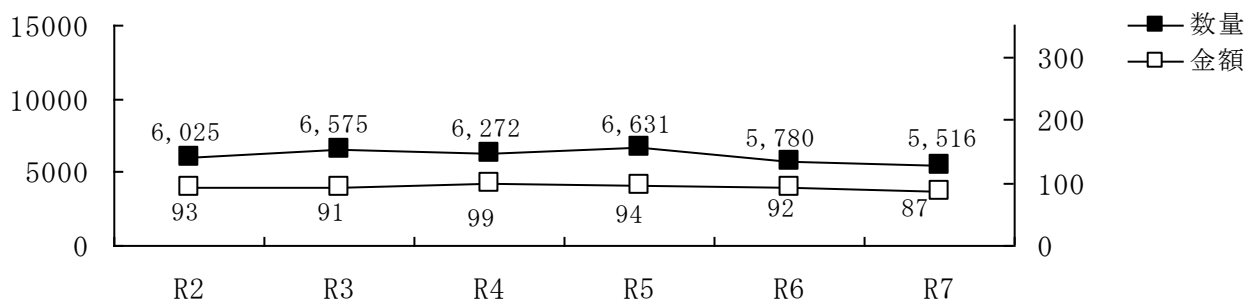
令和3年の経済センサス―活動調査結果では、事業所数は17件、従業者数は695人、製造品出荷額は87億円となっており、平成24年との比較では、事業所数は34.6%減、従業者数は19.6%減、製造品出荷額は40.8%減となっている。

事業所数、従業者数、製造品出荷額において平成24年数値から減少傾向にあり、産業構造の変化などに対応した振興策が課題となっている。

また、地場中小企業の経営基盤は脆弱であり、従業員の高齢化や後継者不足、技術革新や情報化の遅れのほか、労働力人口の不足など、多くの問題を抱えている。

<水産加工製品生産高>

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
数量(t)	6,025	6,575	6,272	6,631	5,780	5,516
金額(億円)	93	91	99	94	92	87



出典：農林水産課

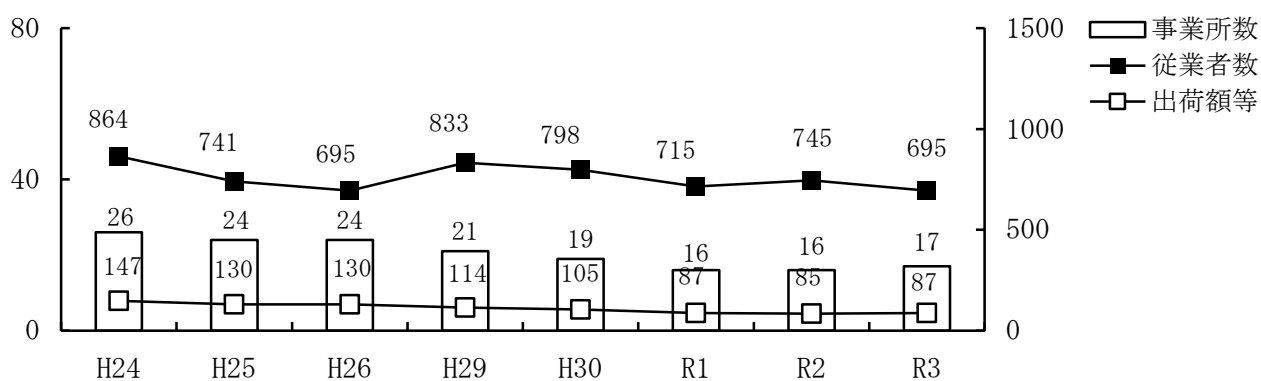
<事業所数、製造品出荷額>

	H24年	H25年	H26年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年
事業所数(件)	26	24	24	21	19	16	16	17
従業者数(人)	864	741	695	833	798	715	745	695
出荷額等(億円)	147	130	130	114	105	87	85	87

※事業所数・・・4人以上の事業所数

※調査期日については、平成26年までが12月31日であるが、平成29年から6月1日となった。
事業所数と従業者数は6月1日現在の数値であるが、出荷額等は前年(1月～12月)の数値となる。

※令和2年をもって、工業統計調査は廃止となったため、令和3年からは経済センサスー活動調査を参照



出典：留萌市統計書、経済センサスー活動調査

(5) 観光

留萌管内の観光は、夏（7～8月）に入込みが集中し、日帰り客が大部分を占める「夏季集中・通過型」となっており、通年・滞在型観光への移行が課題となっている。

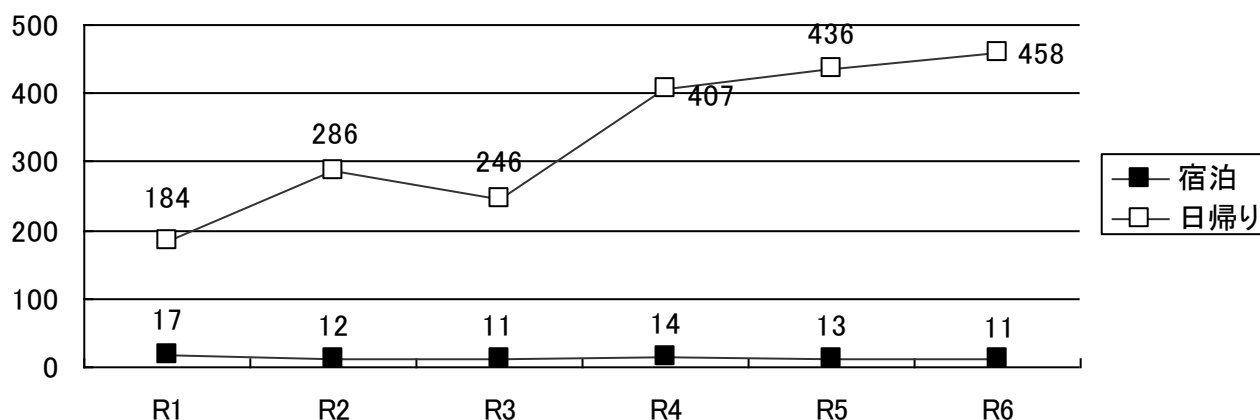
市内の主な観光スポットである黄金岬海浜公園や沖見海浜公園（海水浴場：ゴールデンビーチるもい）や千望台、海のふるさと館、道の駅るもいなどの観光施設等に指定管理者制度を導入し、民間のノウハウや発想を活かした効率的な管理運営とサービスの充実を図っている。

令和2年3月28日に、北海道縦貫自動車道と直結する高規格道路深川・留萌自動車道の全線が開通したことにより、道央圏からのアクセスが飛躍的に向上し、令和2年7月にオープンした道の駅るもいの入場者数は、令和6年度は約39万人と新たな賑わい創出の効果だけでなく、市内外から様々な方々が訪れることで、さらなる交流人口の増加にも期待しているところである。

また、令和4年4月29日には道の駅内に「屋内交流・遊戯施設」が供用開始、さらに令和4年10月に「モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想」が策定され、令和8年7月には道の駅るもいを核としたアウトドアツーリズムによる新たな観光誘客を図ることを目的とした「アウトドア・アクティビティ拠点施設」のオープンを予定しているなど、留萌管内の豊かな自然環境や食などの魅力的な地域資源の活用や広域連携による観光・物産振興が進められている。

<観光客入込状況>

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
観光客総数（千人）	201	298	257	421	449	469
うち宿泊	17	12	11	14	13	11
うち日帰り	184	286	246	407	436	458
うち海水浴	33	38	0	28	31	28



出典：経済観光課

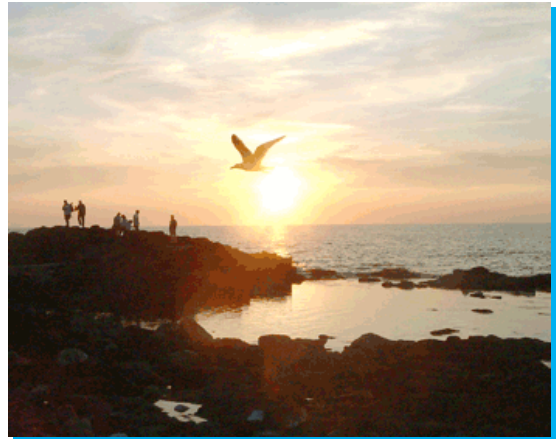
① 主な観光施設

[黄金岬海浜公園]

かつてニシンの見張り台でもあった岬は、夕陽に映し出されたニシンの大群がキラキラと黄金色に輝きながら岸をめぐり押し寄せたことから「黄金岬」と呼ばれるようになった。

黄金岬は、柱を積み重ねたような荒々しい奇岩が幾つも並ぶ独特な景観で、沖に沈む夕陽は、全てのものを染めつくし、その眺めは「日本一の落陽」と言われており、訪れる多くの人々を感動させる。

また、大人も子供も磯遊びを楽しむことができる。



[沖見海浜公園（海水浴場：ゴールデンビーチるもい）]

南北と中央にある3つの突堤と潜堤（水中リーフ）に囲まれた波の静かな人工海水浴場で、夏には、市内外から多くの海水浴客がここを訪れ、道北の短い夏を楽しんでいる。

7月上旬にはビーチバレーの大会が開催され、シーズン中はトーイングチューブなどのマリンスポーツが体験できる。



[海のふるさと館]

黄金岬の背後の高台にある郷土資料館。

「学ぶ・遊ぶ・憩う」をテーマに、施設内には留萌の歴史を道具や映像・レプリカ等によって再現している常設展示室、日本海を一望できる展望ラウンジなどがあり、工作教室やコンサート開催など、多様なイベントが実施されている。



[道の駅るもい]

令和2年7月にオープンした道の駅るもいは、施設内に7.8haの広大で開放的な芝生公園を有しており、季節毎のイベント開催の会場としても活用されている。

さらにパークゴルフ場、ドッグランなどを楽しむことができるほか、地元食材を用いたグルメを楽しめるチャレンジショップ、旧留萌駅の面影を再現した留萌駅そば、カフェなども営業している。

観光資源や地域特産品の情報発信拠点として観光コンシェルジュが常駐しており、地域の活性化をもたらしている。

令和4年4月には新たに親子や家族で時間を過ごすことができる屋内交流・遊戯施設「ちゃいるも」がオープンしており、施設内には複合遊具などで遊べる「遊戯広場」、地場商品を紹介するカフェやアンテナショップが営業しており、大人から子どもまで楽しめる施設となっている。

加えて、令和8年7月には、留萌のポテンシャルである「アウトドア」と「食」の魅力を強力に結び付け、全国へ発信するための新たな観光拠点となる「アウトドア・アクティビティ拠点施設」が、いよいよ開業する。

本拠点施設のオープンに先駆け、アウトドア観光を中心とした「稼ぐ観光」を目指し、SUP・サイクリング・ロゲイニングなど、留萌をフィールドとした様々なツアー商品造成も行っている。



「アウトドア・アクティビティ拠点施設」パース図

[礼受牧場]

白い風車をバックに臨む日本海や暑寒別岳の眺望は素晴らしく、毎年大勢の市民や観光客が訪れる。

夏のハイシーズンには、白い風車の下に咲き誇るそばの花、青い海、緑の牧野がコントラストを織り成している。

また、レストハウスである畜産館周辺では、地場の海の幸・山の幸による「るもい浜焼き」も楽しめる。



[千望台]

「広く海を見渡し、千里の彼方まで望みが届くように」との思いを込めて名付けられた千望台は、市の南側、海拔 180m のなだらかな丘陵地帯で、留萌港を中心に広がる市街地を一望でき、夕景や夜景は訪れる人々を魅了している。

北の水平線には国定公園の天売島・焼尻島の島影、透明度の高い日には利尻島のシルエットが浮かび、南には暑寒別国定公園の秀峰が望める。

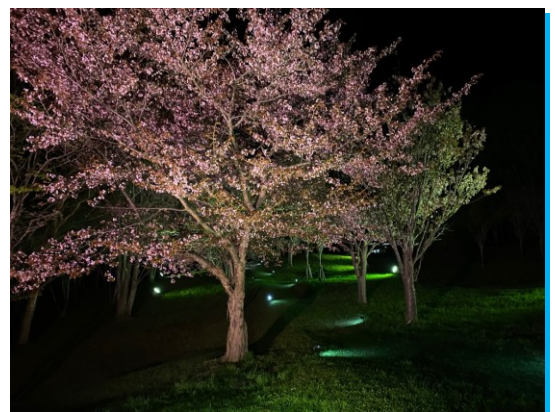
千望台の奥には、「るるもっぺ憩いの森」があり、森林浴やバードウォッチングなども楽しめる。



[神居岩公園]

市街地から東へ 3 キロの山間に造られた広大な敷地の公園で、36 ホールのパークゴルフ場、キャンプ場、アスレチック遊具など、アウトドア施設が充実している総合公園。

21 世紀の桜の丘には、約 1,000 本の桜が植樹されている。春は丘一面に淡いピンクの桜が咲き乱れ、毎年 5 月上旬頃には夜間の桜のライトアップを行っており、多くの観光客が訪れる。秋には紅葉狩りも楽しめる。



② 留萌のイベント

[るもい呑湊まつり（7月下旬）]

留萌最大の夏のイベントであり、初日の前夜祭では特設会場が設置され、ステージアトラクションや抽選会、市内飲食店によるグルメなどを楽しむことができ、市内外から多くの人が集まる。

翌日の本祭では、大小十数基のあんどん行列と約400人のハネトが熱狂乱舞する迫力満点の「やん衆あんどん」が市内目抜き通りを練り歩く。

また、各商店街による協賛催事（ビアガーデンや抽選会等）もあり、まちをあげて行われるまつりである。



[RUMOI SUP FESTIVAL（8月下旬）]

留萌港南岸を舞台に約100名のSUP選手や愛好家が参加する新たなアウトドアスポーツイベントとして令和7年度に初開催された。

RUMOI SUP FESTIVALは、日本スタンドアップパドルボード協会公認レースとしては最北の大会であり、6kmの本格的なレースから1kmのファンレースや、愛犬と一緒にレースに参加するドッグSUPなどの部門があり、たくさんの方がSUPを楽しんでいる。



[萌っこ春待里（3月上旬）]

「みんなで楽しもう」、「みんなの手で創り上げよう」を合言葉に開催される市民手作りのイベント。

子供を乗せたボブスレーを親が引いて走る「なかよし親子バトル」や雪上をにしん船が走る「萌っこばんばレース」などの名物雪上競技のほか、美味しいお店がずらりと並ぶ「グルメ街道」や「大抽選会」など、ちびっ子からお年寄りまで幅広く楽しむことができるお祭りとして、市民に大人気。



[うまいよ！るもい市]

旬の留萌の食を満喫できるイベントの開催を予定している。

新型コロナウイルスの影響により令和2年度から令和4年度までは規模を縮小し「道の駅るもい」で実施をしていたが、令和5年度より留萌港の南岸地区にある留萌地方卸売市場に会場を戻し、実施している。

地場の海産物や農産品、グルメ屋台のほか、「海産物の詰め放題」など、美味しく、楽しいアトラクションの開催も予定しており、留萌市民はもとより全道各地から訪れる方で賑わっている。



(6) 港湾、物流

留萌港は、昭和 11 年に開港し、昭和 27 年には国の重要港湾に指定され、内陸で生産された石炭、木材の積出港として発展してきた。

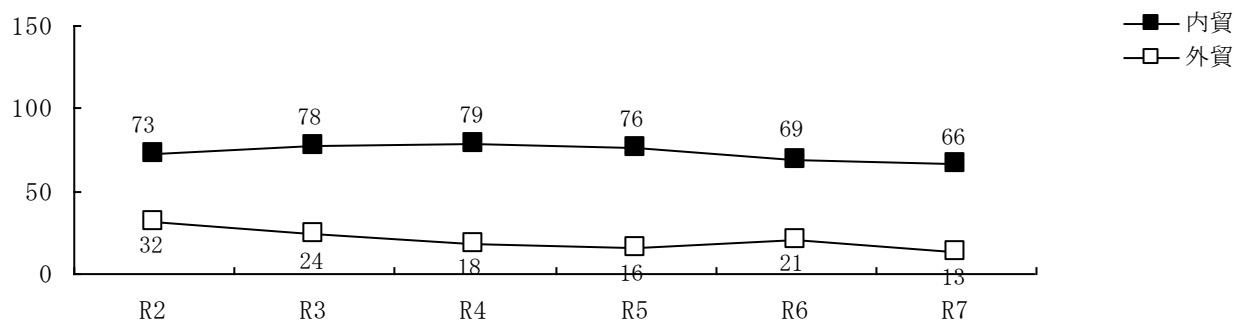
現在の主な取扱貨物は、石油製品、石炭、セメント、木材で、北海道第 2 の都市である旭川市を中心とする上川・空知地方の産業、生活を支える物流拠点として、また、沿岸漁業の基地として重要な役割を果たしている。

平成 19 年に本格供用開始した三泊地区の水深 12m 岸壁は、大量低コスト輸送が可能であり、北海道の交通動脈である道央自動車道と直結する「高規格道路深川留萌自動車道」と一体となった利活用により、道北地域経済圏の活性化にますます寄与するものと期待されている。

また、市民や観光客が港や海に親しむための賑わいと潤いのある空間の形成や安全かつ健全な海洋性レクリエーション機能を付加した、港湾空間の整備が求められている。

<取扱貨物量>

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
内貿 (万トン)	73	78	79	76	69	66
外貿 (万トン)	32	24	18	16	21	13



出典：港湾・再生可能エネルギー室

[デザイン灯台]

平成 19 年 6 月、海洋性レクリエーションゾーンに位置付けている留萌港の大町地区に設置されたデザイン灯台「波灯の女 (ひと)」は、ブロンズ素材の世界にも類を見ない珍しい灯台で、留萌のシンボルとして親しまれている。



3. 財政状況

(1) 令和8年度各会計当初予算

(単位：千円)

会計区分		令和8年度	令和7年度	対前年度比較	
				増減額	伸率(%)
一 般 会 計		14,346,353	15,561,849	△1,215,496	△7.8
特 別 会 計	国民健康保険事業	1,761,383	1,798,207	△36,824	△2.0
	後期高齢者医療事業	535,287	428,226	107,061	25.0
	介護保険事業	2,153,847	2,095,989	57,858	2.8
	港湾事業	128,332	118,187	10,145	8.6
	小 計	4,578,849	4,440,609	138,240	3.1
企 業 会 計	下水道事業	1,803,519	1,981,536	△178,017	△9.0
	水道事業	1,341,642	1,190,340	151,302	12.7
	病院事業	6,856,457	7,185,025	△328,568	△4.6
	小 計	10,001,618	10,356,901	△355,283	△3.4
合 計		28,926,820	30,359,359	△1,432,539	△4.7

※下水道事業は令和6年度より地方公営企業法一部適用

(2) 令和8年度一般会計当初予算

① 款別内訳

(単位：千円、%)

歳 入			歳 出		
款	金 額	構成比	款	金 額	構成比
1 市 税	2,298,542	16.0	1 議会費	104,317	0.7
2 地方譲与税	115,924	0.8	2 総務費	1,998,475	13.9
3 利子割交付金	1,800	0.0	3 民生費	3,726,780	26.0
4 配当割交付金	8,700	0.1	4 衛生費	2,156,285	15.0
5 株式等譲渡所得割交付金	15,700	0.1	5 労働費	9,453	0.1
6 法人事業税交付金	48,000	0.3	6 農林水産業費	106,162	0.8
7 地方消費税交付金	601,000	4.2	7 商工費	160,700	1.1
8 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	384	0.0	8 土木費	1,953,254	13.6
9 地方特例交付金	20,796	0.2	9 消防費	435,745	3.0
10 地方交付税	5,852,000	40.8	10 教育費	791,661	5.5
11 交通安全対策特別交付金	2,100	0.0	11 災害復旧費	1,000	0.0
12 分担金及び負担金	5,405	0.0	12 公債費	1,306,539	9.1
13 使用料及び手数料	257,240	1.8	13 職員給与費	1,575,982	11.0
14 国庫支出金	1,837,637	12.8	14 予備費	20,000	0.2
15 道支出金	687,319	4.8			
16 財産収入	32,159	0.2			
17 寄附金	1,500,000	10.5			
18 繰入金	677,545	4.7			
19 繰越金	1	0.0			
20 諸収入	245,901	1.7			
21 市債	138,200	1.0			
歳入合計	14,346,353	100.0	歳出合計	14,346,353	100.0

※令和8年度は市長選のため4月1日現在は骨格予算編成となっている。

② 性質別内訳

[歳入]

(単位：千円)

区 分		令和8年度	令和7年度	対前年度比較	
				増減額	伸率(%)
自主財源	市 税	2,298,542	2,218,688	79,854	3.6
	分担金及び負担金	5,405	5,852	△447	△7.6
	使用料及び手数料	257,240	274,663	△17,423	△6.3
	財産収入	32,159	29,963	2,196	7.3
	寄附金	1,500,000	1,514,200	△14,200	△0.9
	繰入金	677,545	1,189,573	△512,028	△43.0
	繰越金	1	1	0	0.0
	諸収入	245,901	244,416	1,485	0.6
	小 計	5,016,793	5,477,356	△460,563	
	35.0	35.2	37.9%		
依存財源	地方譲与税	115,924	117,504	△1,580	△1.3
	利子割交付金	1,800	1,000	800	80.0
	配当割交付金	8,700	8,800	△100	△1.1
	株式等譲渡所得割交付金	15,700	14,900	800	5.4
	法人事業税交付金	48,000	52,300	△4,300	△8.2
	地方消費税交付金	601,000	530,000	71,000	13.4
	環境性能割交付金	—	11,200	△11,200	皆減
	国有提供施設等所在 市町村助成交付金	384	384	0	0.0
	地方特例交付金	20,796	10,700	10,096	94.4
	地方交付税	5,852,000	5,733,000	119,000	2.1
	交通安全対策特別交付金	2,100	1,500	600	40.0
	国庫支出金	1,837,637	2,076,164	△238,527	△11.5
	道支出金	687,319	739,541	△52,222	△7.1
	市 債	138,200	787,500	△649,300	激減
小 計	9,329,560	10,084,493	△754,933		
	65.0	64.8	62.1%		
歳入合計	14,346,353	15,561,849	△1,215,496	△7.8	
	100.0%	100.0%	100.0%		

[歳出]

(単位：千円)

区 分		令和 8 年度	構成比	令和 7 年度	対前年度比較	
					増減額	伸率(%)
消費的経費	人件費	1,983,869	13.8	1,919,393	64,476	3.4
	物件費	1,967,585	13.7	2,465,610	△498,025	△20.2
	維持補修費	941,054	6.6	1,073,270	△132,216	△12.3
	扶助費	2,568,052	17.9	2,663,418	△95,366	△3.6
	補助費等	3,197,641	22.3	3,328,320	△130,679	△3.9
	小 計	10,658,201	74.3	11,450,011	△791,810	△6.9
投資的経費	補助事業	312,890	2.2	315,335	△2,445	△0.8
	単独事業	10,766	0.1	399,388	△388,622	激減
	直轄事業負担金	—	—	57,550	△57,550	激減
	災害復旧事業	1,000	0.0	1,000	0	0.0
	小 計	324,656	2.3	773,273	△448,617	△58.0
貸付金		70,980	0.5	81,480	△10,500	△12.9
投資及び出資金		400,530	2.8	420,824	△20,294	△4.8
公債費		1,306,268	9.1	1,298,182	8,086	0.6
繰出金		783,689	5.4	734,571	49,118	6.7
その他		802,029	5.6	803,508	△1,479	△0.2
歳 出 合 計		14,346,353	100.0	15,561,849	△1,215,496	△7.8

(3) 主な財政指標

(単位：千円)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
標準財政規模	7,909,309	7,691,472	7,777,925	7,733,621
うち標準税収入額	2,670,772	2,784,132	2,822,073	2,779,868
財政力指数 (3 ヶ年)	0.318	0.317	0.312	0.315
経常収支比率 (%)	90.6	92.5	94.9	99.4
実質収支比率 (%)	7.2	6.1	7.4	3.7
公債費比率 (%)	5.7	5.4	5.0	4.7
健全化判断比率				
実質赤字比率 (%)	—	—	—	—
連結実質赤字比率 (%)	—	—	—	—
実質公債費比率 (%)	10.9	9.4	9.2	8.8
将来負担比率 (%)	35.0	4.9	—	—

4. 行政組織

(1) 職員の定数及び配置状況

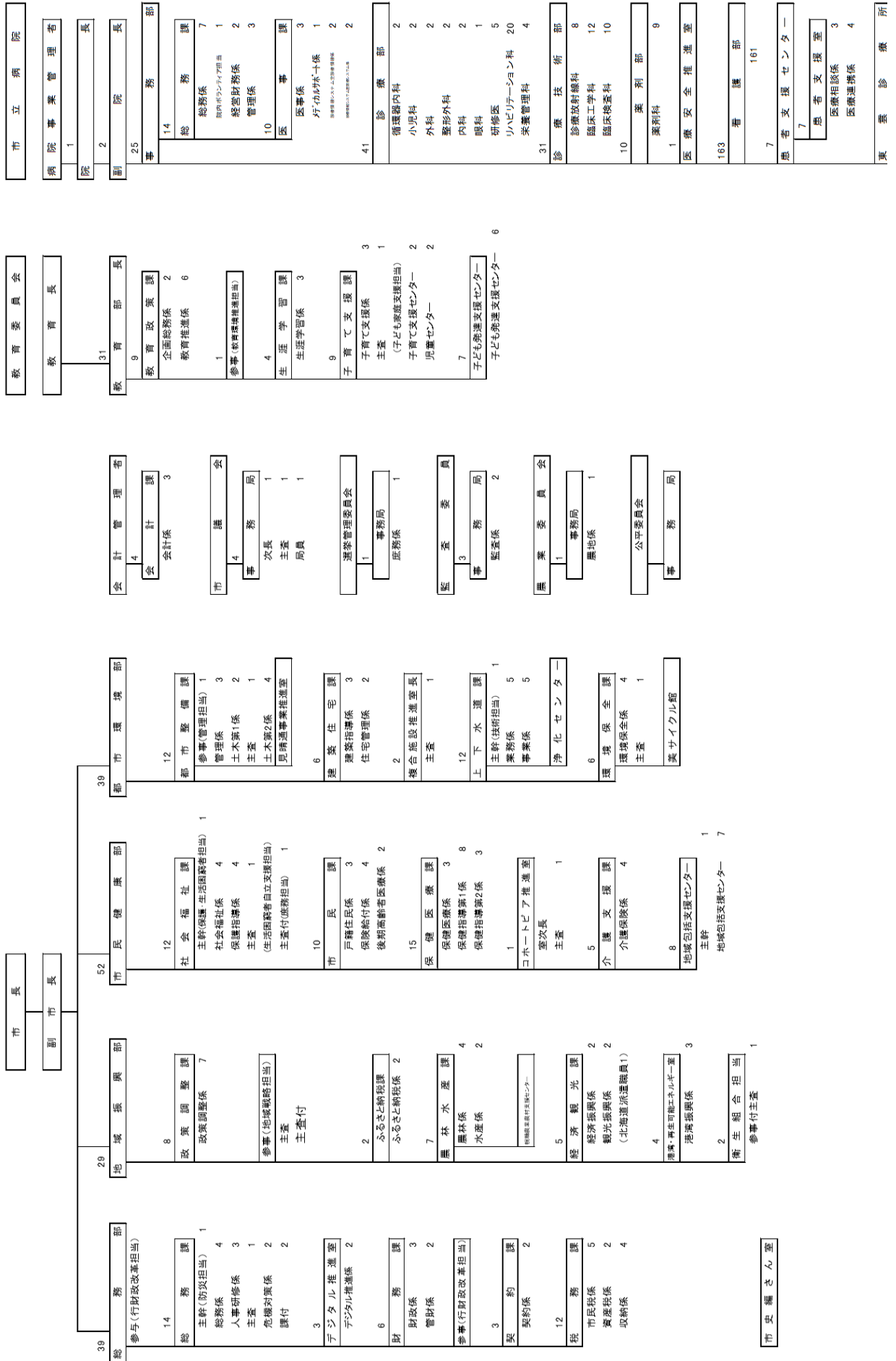
(令和8年4月1日現在)

区 分	定 数	実 数
市長部局（特別職は除く）	180	156
議会事務局	5	4
選挙管理委員会	3	1
監査委員会	3	3
農業委員会	3	1
教育委員会	42	32
水道事業	25	10
病院事業（病院長は除く）	327	281
合 計	588	488

(2) 職員給与

区 分		初 任 給	平均給与月額	平均年齢	ラスパイレス指数 (令和7年4月1日)
一般行政職員	大学卒	232,000 円	342,500 円	41 歳 3 月	96.6
	高校卒	200,300 円			

留萌市機構図(令和8年4月1日現在)

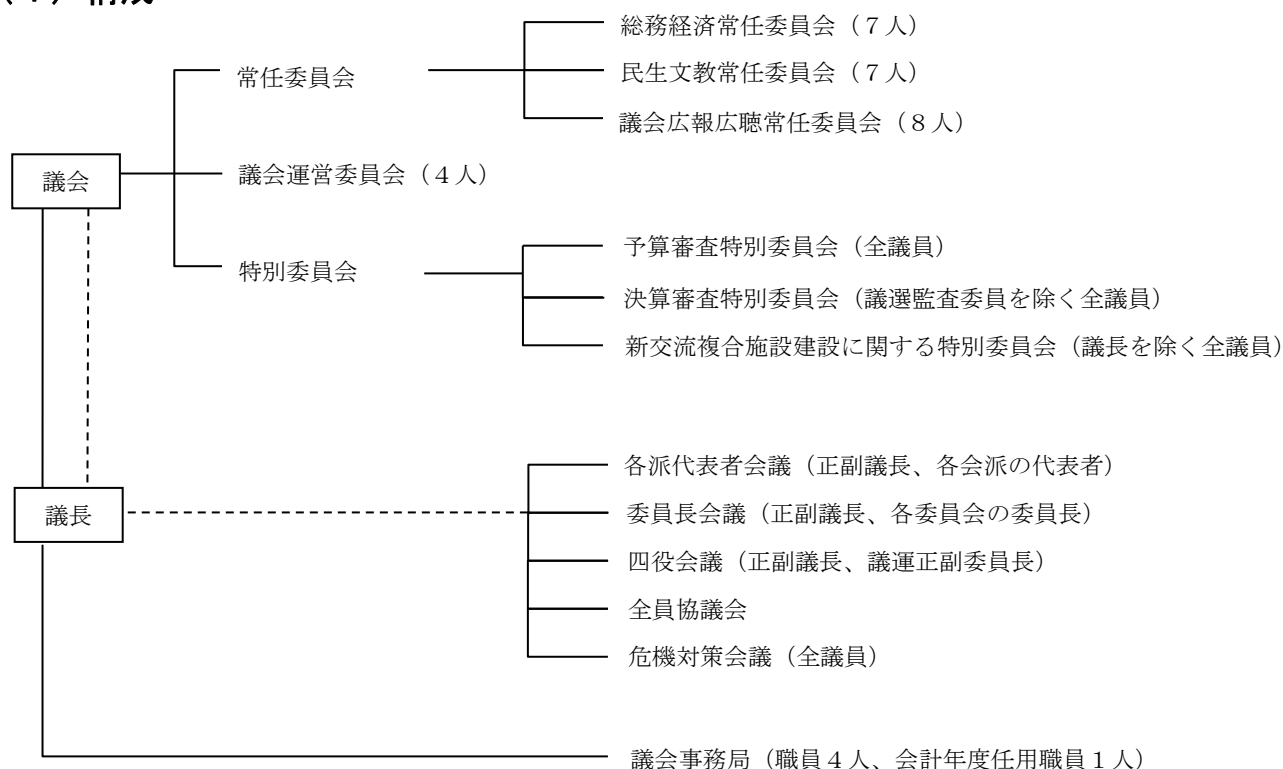


Ⅱ 議 会



1. 議会の構成

(1) 構成



(2) 議員数

区分	議員数	説明
条例定数 (現員)	14人 (14人)	現行定数改正日 平成30年9月28日 条例第15号 (令和元年5月1日より現在の議員数) 任期 令和5年5月1日～令和9年4月30日

① 党派別内訳

党派別	立憲民主党	公明党	日本共産党	無所属
議員数	1人	2人	1人	10人

② 会派別内訳

会派名	萌芽クラブ	萌政会	留萌公明党	無会派
議員数	4人	2人	2人	6人

③ 年齢別内訳

(令和8年4月1日現在)

年齢	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
議員数	1人	3人	2人	5人	3人

④ 当選回数別内訳

当選回数	1	2	3	4	5	6	7	13
議員数	5人	2人	2人	1人	1人	1人	1人	1人

⑤ 議員名簿

(令和8年4月1日現在)

議席 順序	氏 名	年齢	所属委員会・役職				当選 期数	所属会派
			総務経済	民生文教	広報広聴	議会運営		
1	宇川 達朗	39	副委員長		○	副委員長	1	萌政会
2	村上 雅彦	69	○		○		1	無会派
3	田村 裕樹	45		委員長		○	1	萌芽クラブ
4	川村 忠司	45		○	○	○	1	萌芽クラブ
5	議長 燕 昌克	55		○			4	萌政会
6	横田 美樹	48		○	○		2	無会派
7	鈴田 亜湖	55	○		○		1	萌芽クラブ
8	小野 敏雄	72	○				5	萌芽クラブ
9	小沼 清美	69		副委員長	委員長		2	無会派
10	戸水美保子	74	委員長		副委員長		3	留萌公明党
11	米倉 靖夫	60		○			3	無会派
12	副議長 村山ゆかり	64	○		○		6	無会派
13	野崎 良夫	83	○				13	無会派
14	村上 均	69		○		委員長	7	留萌公明党

2. 委員会

(1) 常任委員会（任期2年）

委員会名	定数	所 管 事 項
総務経済 常任委員会	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務部の所管に関する事項 ・ 地域振興部の所管に関する事項 ・ 都市環境部の所管に関する事項 ・ 会計課の所管に関する事項 ・ 選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び農業委員会の所管に関する事項 ・ 他の常任委員会の所管に属しない事項
民生文教 常任委員会	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民健康部の所管に関する事項 ・ 教育委員会の所管に関する事項 ・ 市立病院の所管に関する事項
議会広報広聴 常任委員会	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会広報誌の編集及び発行に関する事項 ・ ホームページやラジオなどの活用による議会の広報に関する事項 ・ 意見交換会及び意見箱による議会の広聴に関する事項 ・ その他議会の広報及び広聴に関する事項

(2) 議会運営委員会（任期2年）

委員の定数は、議会の議決で決定し構成する。なお、正副議長は委員会に出席するものとする。

(3) 特別委員会（通常の場合）

委員会名	構成	設 置 目 的
予算審査	全議員	予算の審査を行うため (新年度予算は例年3月議会に設置、補正予算は随時設置)
決算審査	議選監査委員 を除く全議員	決算の審査を行うため (例年9月議会に設置)
新交流複合施設 建設に関する	議長を除く全 議員	新交流複合施設建設に関する調査研究

3. 議会の活動状況

(1) 本会議の開催状況

年次	定例会			臨時会			合計		
	回数	会期日数	会議日数	回数	会期日数	会議日数	回数	会期日数	会議日数
令和5年	4	42	16	1	1	1	5	43	17
令和6年	4	39	16	2	2	2	6	41	18
令和7年	4	40	16	5	5	5	9	45	21

① 令和7年の開催状況

区分	会期	会議日数	一般質問者数	傍聴者数
第1回定例会	3月4日～3月13日 (10日間)	4日	9人	6人
第2回定例会	6月3日～6月13日 (11日間)	4日	6人	5人
第3回定例会	9月2日～9月11日 (10日間)	4日	8人	3人
第4回定例会	12月2日～12月10日 (9日間)	4日	7人	13人
第1回臨時会	1月31日 (1日間)	1日		0人
第2回臨時会	3月28日 (1日間)	1日		1人
第3回臨時会	4月18日 (1日間)	1日		0人
第4回臨時会	9月26日 (1日間)	1日		0人
第5回臨時会	12月28日 (1日間)	1日		0人
合計	45日間	21日	30人	28人

② 一般質問

- ・ 通告期限：定例会前の議会運営委員会の開催日前日（土曜日、日曜日及び祝日を除く。）の午後3時まで
- ・ 質問順序：抽選により決定
- ・ 通告範囲：理事者において十分な答弁または説明資料が得られる程度に質問項目を具体的に記載
- ・ 質問時間：答弁含め60分
- ・ 発言回数：制限時間内での発言回数は制限なし
初めに統括質問を行い、2回目からは一問一答
- ・ 発言場所：初回のみ登壇し、2回目からは質問席で行う

(2) 委員会の開催状況

区分 年次	開催日数							合計
	常任委員会			議会 運営	特別委員会			
	総務経済 (旧第1)	民生文教 (旧第2)	議会 広報広聴		予算審査	決算審査	その他	
令和5年	15	12	10	17	2	1	0	57
令和6年	15	13	13	14	2	1	0	58
令和7年	16	13	12	23	1	1	1	67

※令和7年3月13日より、第1、第2常任委員会の名称をそれぞれ総務経済、民生文教常任委員会に変更

① 予算・決算審査特別委員会

・審議方式

予算・・・全議員による予算審査特別委員会を設置し、これに会期中の審査を付託する。

(新年度予算は例年3月議会に設置、補正予算は随時設置)

決算・・・議選監査委員を除いた全議員による決算審査特別委員会を設置し、これに会期中の審査を付託する。

・審査方法：一般会計の歳出は各款毎に、歳入は一括とし、特別会計及び事業会計は歳入歳出一括で行う。

・質疑方法：それぞれの会計及び報告の審査毎に一問一答制とし、発言回数は制限しない。

・質疑時間：答弁を含め、款毎1人30分以内とする。ただし、質疑又は答弁の途中で時間を超えた場合は、当該質疑に対する答弁が終了する時点までとする。

(3) 審議案件の状況（令和7年）

区分 付議事件	付議件数				議決態様											
	市長提出	議員提出	その他	計	原案可決	修正可決	否決	同意	認定	承認	了	採択	不採択	継続審議	その他	
議案	予算	32			32	32										
	条例	35	1		36	36										
	その他	21	2		23	18			3		2					
決算認定	4			4					4							
報告	17		4	21							21					
諮問	3			3												3
請願																
陳情																
意見書案		20		20	20											
決議案		1			1											
選挙																
推せん																
その他																
合計	112	24	4	140	107			3	4	2	21					3

4. 議員報酬等

(1) 議員報酬及び期末手当

区分	月 額 (平成28年4月1日改正)	期末手当 (令和8年4月1日施行)	
		6 月	12 月
議 長	380,000 円	232.5/100	232.5/100
副議長	340,000 円		
議 員	310,000 円		

《参考：特別職の給与》

区分	月 額 (平成28年4月1日改正)	期末手当 (令和8年4月1日施行)	
		6 月	12 月
市 長	830,000 円	232.5/100	232.5/100
副市長	680,000 円		
教育長	580,000 円		

(2) 行政調査経費

常任委員会：行政視察は、総務経済・民生文教常任委員会と議会運営委員会・議会広報広聴常任委員会が隔年で実施
予算は、委員一人あたり 13.6 万円 (打切り)

(3) 政務活動費

会派及び無会派議員に対し、議員一人あたり年額 12 万円を交付

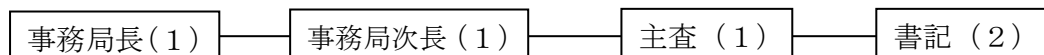
5. 議会関係予算（令和8年度当初予算）

（単位：千円）

	節	金額	説明	
議会費 104,317	1. 報酬	53,280	議員報酬	53,280
	3. 職員手当等	23,743	議員期末手当	23,743
	4. 共済費	13,098	議員共済負担金	13,098
	7. 報償費	50	講師謝礼金	50
	8. 旅費	4,892	費用弁償	3,262
			普通旅費	1,630
	9. 交際費	380	議長交際費	380
	10. 需用費	942	消耗品費	820
			食糧費	26
			印刷製本費	46
			修繕料	50
	11. 役務費	989	通信運搬費	930
			広告料	39
手数料			20	
12. 委託料	3,624	会議録データベース化委託料	1,976	
		議会報作成委託料	749	
		議会一般質問FMラジオ放送業務委託料	899	
13. 使用料及び賃借料	1,023	自動車等借上料	12	
		会場借上料	50	
		駐車場使用料	79	
		ペーパーレス議会システム利用料	726	
		レンタルサーバー使用料	43	
		グループウェアソフト使用料	113	
17. 備品購入費	60	図書購入費	10	
		機器等購入費	50	
18. 負担金補助及び交付金	2,236	政務活動費交付金	1,680	
		全国市議会議長会負担金	306	
		北海道市議会議長会負担金	43	
		全国市議会議長会基地協議会負担金	31	
		全国自治体病院経営都市議会協議会負担金	18	
		各種会議負担金	158	

6. 議会事務局の構成

（条例定数5人 職員4人、会計年度任用職員1人）



留萌市議会事務局

〒077-8601 北海道留萌市幸町1丁目11番地

TEL 0164-42-1907

FAX 0164-43-6700

E-mail rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp